

# 大学生における着装基準尺度の研究

松原詩緒\*

Study on Clothing Judgmental Standard Scale for Japanese University Students

Shio Matsubara

**要 旨** 本研究は着装基準の測定尺度を作成することを目的とした。最終的には着装場面や年齢に幅広く対応した尺度の開発を目指す。今回は大学生を対象とし、日常的な場面において広範囲に使用可能な尺度の作成を行った。本研究で用いた質問項目は福岡ら（1998）などの先行研究を参考に社会的規範、社会的調和、流行、個人的嗜好、印象管理、実用性の6因子構造を仮定した。大学生904名を対象に自宅やデパートなど10場面を設定し調査を行ったところ、一貫した因子構造がみられた。そのためすべての場面に対する回答をまとめ、6因子21項目のモデルを作成し確認的因子分析を行った。その結果、十分な適合度指標がえられた。本研究で検討された尺度を用いることで、さまざまな生活場面における着装基準が明らかとなるだろう。これは着装と心理の関係を解き明かす一助となると考えられる。しかし本尺度には項目数の少ない因子がみられている。また本研究で着装基準の因子構造については確認できたが、尺度の妥当性と再現性の検討は不十分である。幅広い年代に適用できる尺度開発を視野に入れつつ、今後、本尺度の精度をより高めるための更なる研究が望まれる。

キーワード 着装基準 尺度作成 大学生

## 目的

社会的生物と称される我々は、他者との関わりの中で日々の生活を送る。そのため、周囲の他者が自身に対してどのような印象を抱くのかは注意を向けるべき点といえる。人が他者に対し印象を抱く際に、外見は情報源のひとつとなる。その外見を変える方法として衣服をまとうこと、つまり着装があげられる。衣服には多種多様な色や素材、デザインが存在する。それは、衣服が寒暖の調節など生命維持の機能だけを持っているのではなく、他者へのアピールや自身の満足にも一役を担っていることをあらわしているといえる。本研究では人々が着装を選択するにあたりどのような基準を持つのかを検討し、測定指標を作成することを目的とした。最終的には年齢や場面の汎用性が高い尺度を作成することを目標とするが、本研究ではその前段階として大学生における着装基準の測定尺度について検討した。特に、着装場面に対して幅広く使用可能な尺度を目指した。多様な場面での着装基準が測定可能となることで、着装と心理的な変化の関わりを比較検討することが容易となる。着装基準尺度の検討は、着装の心理的効果に関する研究発展の一

\*文化学園大学現代文化学部助教 社会心理学, 健康心理学

助となるだろう。

着装基準を測る尺度の作成は、これまでも幾度か取り組まれてきた。尺度の作成にあたり検討されてきた点は大きく2つに分けられる。ひとつめの点は、着装場面である。着装は生活場面に左右される。たとえば冠婚葬祭と日常での着装は全く異なるだろう。そのため、これまでの研究でもいくつかの場면을提示し、その場に対する着装についてたずねる形で検討が行われてきた。中川（1986）の調査では女子大学生を対象に家でくつろいでいる時やデートをする時など8つの場면을提示し、それぞれの場面に対して11項目の着装基準について回答を求めた。その結果、場面ごとに異なる着装基準がある傾向がみられた。そこで福岡・高木・神山・牛田・阿部（1998）、牛田・高木・神山・阿部・福岡（1998）、阿部・高木・神山・牛田・辻（2000）の一連の調査では、場面の検討と各場面における着装基準の検討を行い、7場面と着装基準に関する8項目を組み合わせ56項目の尺度を作成した。この尺度は広範囲な場面での着装行動を一度に測定することができる点で優れているといえた。しかし一方で場면을複数設けているため質問の総項目数が増加し、着装基準そのものは大枠でしか捉えられていなかった。着装基準の全体像を把握するには適した尺度であるが、本研究の目的としている場面に対し汎用性の高い尺度とは視点が異なるため、改めて着装場면을複数設定し個別に調査を行うこととした。

ふたつめの点は、着装基準に関する項目である。前述のとおり阿部ら（2000）は着装基準に関して8項目の質問を用いている。これは一連の研究である福岡ら（1998）が神山・高木・牛田・馬杉・阿部・福岡（1997）と牛田・高木・神山・馬杉・阿部・福岡（1997）の見出した社会的調和因子、個性・流行因子、実用性因子の3因子から抜粋した12項目から、さらに抜粋した項目であった。この3因子は幾度か因子分析が行われており、その結果が類似していたことから構造の確からしさが証明されている。また、その他の着装基準尺度に関する研究では、中川（1986）があげられる。中川（1986）は中川（1981）でえられた主婦のファッション意識の構造を基に、11項目の質問紙を作成し調査を行った。その結果、社会性因子、ファッション性因子、着心地・実用性因子の3因子を抽出した。その後、内藤・小林（2001）は、福岡ら（1998）一連の調査と中川（1986）を参考にしつついくつかの項目を追加し、15項目の尺度を作成した。その結果、社会的調和と規範の因子、自己アピールと流行の因子、実用性の因子の3因子が抽出された。また田中・秋山・和泉・上野・西川・吉川（1998）が高齢者を対象に調査を行ったところ、個人的服装嗜好、流行、機能性、社会的服装規範の4因子が抽出された。安永・野口（2012）では田中ら（1998）、岡田（2000）、岡村（2003）を基に、外出着の基準について個人的志向、流行、社会的規範、機能性の4側面を作成した。雪村・井上・立岡・小林（2003）は日頃どのような点にこだわり服装を決めるかを自由記述でたずね、そこから社会的調和、個性・流行、印象管理、実用性の4側面があることを見出した。

以上のように先行研究では様々な研究手法により着装基準を測る項目が作成されてきたが、それらには類似した因子や側面が多く見出されている。そこで本研究では、より正確に着装基準の意識構造を捉えた尺度を検討するため、福岡ら（1998）、中川（1986）、内藤・小林（2001）、安永・野口（2012）、雪村（2003）で用いられた因子や側面をまとめ、繰り返し登場した社会的規

範, 社会的調和, 流行, 個人的嗜好, 印象管理, 実用性の6因子が着装基準には存在すると仮説を立てた。そして各因子に属する質問項目を上述の先行研究から抜粋し, 不足分は新たに項目を加え Table1 の27項目を作成した。なお本研究では多様な場面での測定に対応した尺度の作成を目指したため, 着装場면을複数設定して着装基準に対する回答を求め, 各場面に共通する因子について検討した。着装場面は, 福岡ら(1998), 牛田ら(1998), 阿部ら(2000), 内田・小林・長倉(1998)の先行研究を参考に作成された内藤・小林(2001)の10場面を採用した(Table2)。これは公園などの日常活動場面と結婚式などの非日常活動場面, レジャーなどの余暇活動場면을平均的に包括するよう選出されたものである。なお内藤・小林(2001)によるとこの10場面に対し20歳前後の大学生男女と50歳前後の中年男女が類似した印象を持っていることが分かっている。今後, 年代にとらわれない幅広い尺度へと発展させることを考慮し, これを採用した。

Table1 着装基準

因子	質問項目
社会的規範	01. 目的や場所を考えた衣服を着用する
	02. 常識やしきたりに従った衣服を着用する
	03. 慣習, 伝統に合わせた衣服を着用する
	04. その場における自分の立場にふさわしい衣服を着用する
	05. 年齢に合った衣服を着用する
社会的調和	06. 周りの人に対して礼儀や品位を表した衣服を着用する
	07. 周囲の人と同じような衣服を着用する
	08. 多くの人が持っている衣服を着用する
	09. 周囲に受け入れられるような衣服を着用する
流行	10. 流行している色・柄を選び着用する
	11. 流行に合う衣服を着用する
	12. 雑誌やテレビに出ている人の衣服を参考にし着用する
	13. 流行の素材を使っている衣服を着用する
	14. 街で見かけた服装や店員の服装を参考にし着用する
個人的嗜好	15. 自分の好みに合った衣服を着用する
	16. 自分の好きな色やデザインの衣服を着用する
	17. 気に入った服を着用する
	18. 好みのブランドの服を着用する
印象管理	19. 自分を引き立てる衣服を着用する
	20. 自分らしさを表現するような衣服を着用する
	21. 自分をより良くみせるデザインを着用する
	22. スタイルがよくみえる衣服を着用する
実用性	23. 洗濯や手入れが簡単な衣服を着用する
	24. 着心地が良い衣服を着用する
	25. 体に良くあって動きやすい衣服を着用する
	26. 耐久性のある衣服を着用する
	27. 暑さ寒さの調節しやすい衣服を着用する

Table2 着装場面

百貨店やデパート  
 学校(大学への通学)  
 結婚式(披露宴)  
 葬式や通夜  
 入学式や卒業式  
 職場(主にデスクワーク)  
 パーティー会場  
 山や海(自然の中でのレジャー)  
 公園(主に散歩)  
 自宅

## 方法

### 1. 調査対象

関東の大学生 904(男 636, 女 268) 名を対象とした。平均年齢は 19.64(SD = 1.46) 歳であった。

### 2. 調査日と手続き

2014 年 7 月に集合法による質問紙調査を行った。調査は匿名であり、調査協力者には事前に本調査により不利益が生じない事や拒否権があることについて説明を行った。

### 3. 調査内容

着装場面をランダムに 2 つ提示し、生活場面 (Table2) ごとに着装基準 (Table1) が自身にどの程度当てはまるかを 5 件法でたずねた。

### 4. 分析方法

各場面における着装基準を因子分析 (最尤法, Promax 回転) し、その構造を確認した。その後場面をまとめ、全体に共通した因子構造について確認的因子分析を行った。なお分析ツールは SPSS Statistics21 と Amos22.0 を用いた。

## 結果

### 1. 場面ごとの着装基準

着装基準の因子構造を検討するため、場面ごとに因子分析を行った (Table3 ~ 12)。固有値 1 以上を基準とし因子を抽出したところ、10 場面のうち百貨店やデパート、結婚式、入学式や卒業式、公園、学校、職場、自宅の 7 場面では 6 因子構造がみられた。そのうち百貨店やデパート、入学式や卒業式、学校の 3 場面ではほぼ仮説通りの因子構造がみられ、着装基準に社会的規範、社会的調和、流行、個人的嗜好、印象管理、実用性の 6 因子が存在していることが確認できた (Table3, 6, 9)。ただし社会的調和因子として設問した「06. 周りの人に対して礼儀や品位を表した衣服を着用する」と「08. 多くの人が持っているような衣服を着用する」は、異なる因子である社会的規範因子に .40 以上の高い因子負荷量を示した。この項目は他の場面においても同じ傾向がみられた (Table13)。また個人的嗜好因子として設問した「18. 好みのブランドの服を着用する」は、流行因子に .40 以上の高い因子負荷量を示した。この項目も他の場面においても流行因子や他の因子に高い負荷量を示しており、元の個人的嗜好因子に .40 以上の因子負荷量を示したのは結婚式と葬式や通夜を着装場面とした場合のみであった。

結婚式を着装場面とした場合でも 6 因子構造が抽出されたが、第 1 因子に印象管理因子と個人的嗜好因子が統合されており、第 6 因子は流行因子の 1 項目のみであった (Table4)。また公園を着装場面としたときも 6 因子構造が抽出されたが、第 2 因子は個人的嗜好因子の他に実用性因子から 3 項目、社会的規範因子から 2 項目が加わった複合因子となった (Table8)。個人的嗜好因子と同じ因子に該当した実用性因子の項目は「24. 着心地が良い衣服を着用する」と「25. 体に良くあって動きやすい衣服を着用する」, 「27. 暑さ寒さの調節しやすい衣服を着用する」であった。活動的な場面といえる公園では、活動に相応しい動きやすさなどに関する項目は、着装を選

Table3 百貨店やデパート

	因子					
	F1	F2	F3	F4	F5	F6
流行 13	.93	-.04	-.07	.08	-.09	-.05
流行 11	.85	-.02	.00	.04	-.12	-.05
流行 10	.72	.07	-.02	-.02	-.05	-.03
流行 12	.56	-.08	.16	-.19	.18	.00
個人的嗜好 18	.42	.29	-.17	.07	.13	-.03
流行 14	.41	.10	.00	-.11	.20	.21
印象管理 19	-.04	.94	.00	-.03	-.08	-.04
印象管理 21	-.03	.91	.05	-.01	-.02	.01
印象管理 22	.08	.67	-.05	-.04	.00	.05
印象管理 20	.04	.61	.02	.01	.15	-.08
社会的規範 05	.17	.22	.17	.03	.17	.11
社会的規範 04	-.07	-.04	.86	-.02	.00	-.08
社会的調和 06	-.15	.06	.79	-.08	-.04	.02
社会的規範 02	.06	.04	.61	.15	-.20	-.06
社会的規範 01	.16	.01	.55	-.01	.13	-.06
社会的調和 09	.03	-.08	.52	.01	.15	.16
実用性 23	-.04	.01	.00	.70	-.04	.11
実用性 24	-.11	-.04	-.07	.70	.15	-.07
実用性 26	.09	.08	.02	.62	-.08	.10
実用性 25	-.07	-.07	-.06	.61	.13	-.06
実用性 27	.09	-.07	.17	.51	.07	-.06
個人的嗜好 16	.06	-.07	-.04	-.02	.90	-.06
個人的嗜好 15	-.02	.04	.00	.12	.74	.06
個人的嗜好 17	-.12	.17	.07	.10	.52	-.08
社会的調和 08	-.10	.01	-.05	-.03	.03	1.05
社会的調和 07	.08	-.06	.03	.05	-.09	.65
社会的規範 03	.13	.05	.19	.21	-.16	.21
F1		.54	.34	-.11	.08	.30
F2			.40	.08	.49	-.04
F3				.18	.19	.22
F4					.17	.06
F5						-.29

Table4 結婚式(披露宴)

	因子					
	F1	F2	F3	F4	F5	F6
印象管理 19	.89	.02	.09	-.07	-.10	-.23
印象管理 21	.68	.08	.01	.13	-.04	.07
印象管理 20	.67	-.11	.04	.07	-.26	-.04
印象管理 22	.66	.15	-.16	.12	.14	.00
個人的嗜好 17	.64	.09	-.10	.00	-.15	.23
個人的嗜好 16	.55	-.02	.02	-.03	-.19	.24
個人的嗜好 15	.51	.11	-.03	.00	-.07	.50
個人的嗜好 18	.50	-.05	.16	-.25	.21	.12
社会的規範 01	.01	.88	.14	.04	-.17	.10
社会的調和 06	-.02	.82	.14	.01	-.15	.10
社会的規範 04	.03	.72	-.02	-.04	.01	.03
社会的規範 02	.19	.71	-.04	-.04	.20	-.26
社会的調和 09	.05	.61	-.16	-.04	.23	-.05
社会的規範 03	-.14	.61	-.03	.14	.21	-.07
社会的規範 05	.17	.35	.06	.14	.13	.00
流行 10	.00	.10	.97	-.09	-.07	-.07
流行 11	-.08	.04	.76	.06	.04	.14
流行 13	.13	-.19	.41	.22	.10	.01
実用性 27	.03	.15	-.08	.68	.00	.06
実用性 25	.06	-.01	-.06	.59	-.07	.23
実用性 26	-.08	-.01	.30	.54	.03	-.08
実用性 24	-.07	.00	-.07	.49	-.06	.41
実用性 23	.04	-.19	.03	.34	.29	.04
社会的調和 08	-.13	.05	-.01	.01	.76	.06
社会的調和 07	-.27	.29	.03	-.06	.71	.11
流行 14	.29	-.14	.04	.10	.37	.35
流行 12	.18	-.12	.20	-.02	.36	.53
F1		.04	.40	.40	-.08	.33
F2			-.14	-.03	.01	.11
F3				.31	.30	.23
F4					.28	.00
F5						-.21

Table5 葬式や通夜

	因子			
	F1	F2	F3	F4
社会的調和 06	.94	-.04	.15	-.07
社会的規範 01	.89	-.07	.21	-.15
社会的規範 04	.88	-.03	.12	-.07
社会的規範 03	.72	.01	-.03	-.12
社会的調和 09	.71	-.01	-.08	.06
社会的規範 02	.70	.16	-.11	-.06
社会的調和 08	.38	-.11	-.32	.22
社会的規範 05	.37	.32	.02	.11
実用性 24	-.03	.92	.05	-.15
実用性 25	-.06	.86	.07	-.14
実用性 23	-.08	.70	-.05	.06
実用性 27	.11	.65	.01	.11
実用性 26	.13	.46	-.19	.37
個人的嗜好 17	-.21	.41	.40	.06
印象管理 19	.09	-.16	.93	.14
個人的嗜好 15	-.09	.05	.83	-.04
印象管理 20	.04	.11	.66	.20
個人的嗜好 18	.08	-.05	.59	.32
社会的調和 07	.52	.10	-.57	.23
印象管理 21	.10	.27	.56	.11
個人的嗜好 16	-.20	.22	.47	.20
印象管理 22	.18	.26	.43	.16
流行 14	-.15	-.09	.03	.80
流行 11	-.03	.07	.11	.72
流行 10	-.05	-.22	.32	.68
流行 13	.08	.04	.26	.65
流行 12	-.07	.23	-.12	.60
F1		-.09	-.35	-.17
F2			.59	.56
F3				.61

Table6 入学式や卒業式

	因子					
	F1	F2	F3	F4	F5	F6
流行 11	.84	.00	.05	-.10	.01	.01
流行 13	.83	-.01	-.15	.15	-.07	.00
流行 10	.83	.00	.02	-.20	.04	.03
流行 12	.73	.09	-.09	.11	-.01	.02
流行 14	.53	-.06	.15	.07	.11	-.03
個人的嗜好 18	.39	-.07	.11	.07	-.09	.21
社会的調和 06	.04	.95	.01	-.02	-.15	-.05
社会的規範 01	.00	.91	.16	-.03	-.08	-.16
社会的規範 02	-.06	.77	.00	.05	.07	-.02
社会的規範 04	-.07	.76	.00	.02	.02	.11
社会的調和 09	.09	.60	-.06	-.04	.08	.10
社会的規範 05	.15	.24	-.06	.10	.21	.13
個人的嗜好 16	.06	.17	.91	.03	.04	-.09
個人的嗜好 15	-.08	-.03	.81	-.15	.12	.20
個人的嗜好 17	.00	-.05	.64	.14	-.03	.06
実用性 27	.10	.02	-.03	.71	.08	-.16
実用性 25	-.16	.07	.09	.71	-.01	.08
実用性 24	-.01	-.05	.18	.68	-.06	-.04
実用性 23	.05	-.18	-.07	.59	.08	.00
実用性 26	-.03	.16	-.19	.56	.00	.17
社会的調和 08	.01	-.14	.16	.09	1.00	-.11
社会的調和 07	.10	.30	-.07	-.06	.54	-.07
社会的規範 03	-.16	.20	-.14	-.02	.41	.31
印象管理 19	.07	-.08	.21	-.12	-.02	.71
印象管理 21	.13	.11	.18	.05	.01	.54
印象管理 22	.05	.04	.07	.15	-.07	.52
印象管理 20	.17	-.07	.33	.03	-.09	.34
F1		.00	.46	.40	-.05	.55
F2			-.08	.03	.29	.25
F3				.48	-.38	.46
F4					-.18	.42
F5						.01

Table7 パーティー会場

	因子						
	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7
社会的調和 06	.82	.03	.10	.00	.04	-.04	-.14
社会的規範 01	.76	-.04	.26	-.09	.07	.02	-.09
社会的規範 04	.73	-.06	.00	-.10	-.07	-.06	.18
社会的規範 02	.70	.06	-.16	.13	.09	.01	-.16
社会的調和 09	.57	-.03	-.14	-.03	.05	.11	.21
社会的規範 05	.52	-.07	.12	-.08	-.07	.08	.40
社会的規範 03	.40	.13	-.29	.16	-.11	.30	-.02
印象管理 21	.02	.87	.02	.04	.05	.15	-.05
印象管理 20	-.09	.77	.02	.03	-.10	.01	.02
印象管理 19	.01	.60	.16	-.01	.12	-.09	.01
印象管理 22	.19	.50	-.09	-.11	-.02	-.21	.36
個人的嗜好 18	-.02	.29	.08	.03	-.05	-.18	.22
個人的嗜好 15	-.08	.00	.89	.04	.06	-.02	-.01
個人的嗜好 16	.03	.06	.76	-.03	-.05	-.03	.10
個人的嗜好 17	.14	.18	.59	.14	-.05	.04	.03
実用性 25	.03	.12	-.02	.82	-.03	-.10	-.01
実用性 24	.04	.00	.17	.73	-.03	.03	.02
実用性 23	-.26	.00	-.02	.59	.04	.04	.22
実用性 27	.15	-.15	-.07	.45	.328	-.16	.36
流行 11	.02	-.02	-.01	.07	.91	.06	-.08
流行 10	.12	-.05	.02	.02	.79	-.01	.01
流行 13	-.09	.09	-.15	-.01	.50	-.07	.45
流行 12	-.06	.00	.21	.02	.33	.09	.27
社会的調和 08	-.06	.01	.05	-.06	.03	.94	.25
社会的調和 07	.10	-.03	-.04	-.04	.03	.68	.05
実用性 26	.10	-.19	.05	.31	-.11	.11	.54
流行 14	-.12	.19	.06	-.01	.04	.23	.49
F1		.35	.33	.11	.26	.19	.19
F2			.52	.15	.41	-.16	.13
F3				.15	.13	-.19	.10
F4					.09	.22	.15
F5						.08	.32
F6							-.02

Table8 公園

	因子					
	F1	F2	F3	F4	F5	F6
流行 10	.90	-.17	-.04	.03	.09	-.12
流行 13	.82	-.10	.12	-.08	.21	.07
流行 11	.80	-.02	.02	-.18	-.04	.18
流行 12	.47	.16	.12	.00	-.22	.15
流行 14	.46	.21	-.08	-.05	-.46	.14
個人的嗜好 18	.30	.12	.22	.14	-.19	-.03
個人的嗜好 16	-.18	.71	.23	-.04	-.15	.05
個人的嗜好 15	-.04	.70	.19	-.12	-.08	-.03
実用性 24	-.01	.63	-.16	-.16	.39	.06
個人的嗜好 17	-.08	.56	.21	.02	.07	.00
実用性 25	-.04	.50	-.18	.00	.39	.04
社会的規範 05	.04	.50	-.04	.19	.02	.13
社会的規範 01	.22	.49	-.12	.41	.05	-.31
実用性 27	.02	.32	-.11	-.02	.24	-.02
印象管理 21	-.04	.01	.90	.07	.12	.12
印象管理 19	.06	.05	.73	.01	.08	-.07
印象管理 20	.04	.13	.68	-.09	.09	-.18
印象管理 22	.15	.08	.52	.17	.01	-.03
社会的調和 06	-.05	-.16	.09	.71	-.01	-.07
社会的規範 02	-.23	.04	.07	.68	-.12	.14
社会的規範 04	.01	.12	-.03	.66	-.01	-.11
社会的調和 09	-.10	.13	.02	.61	.09	.25
社会的規範 03	.14	-.26	-.08	.46	.08	.18
実用性 26	.22	.00	.17	.03	.88	.00
実用性 23	-.13	.04	.11	-.04	.67	.15
社会的調和 08	.07	.00	-.07	.08	.02	.86
社会的調和 07	.12	.04	-.03	.05	.11	.69
F1		.07	.48	.48	-.30	.32
F2			.32	.21	.03	-.19
F3				.44	-.47	-.05
F4					-.21	.19
F5						-.08



Table9 学校（大学への通学）

	因子					
	F1	F2	F3	F4	F5	F6
流行 10	.90	.05	-.03	-.03	-.13	-.05
流行 11	.79	-.06	.08	-.04	.00	-.02
流行 12	.68	-.08	-.03	.13	.17	-.02
流行 13	.64	.13	.18	-.20	.03	-.03
流行 14	.44	-.02	-.13	.18	.37	-.01
個人的嗜好 18	.39	-.11	.14	.19	-.14	.08
実用性 24	-.07	.81	-.14	.30	-.11	-.06
実用性 25	-.17	.76	.04	.09	.08	-.07
実用性 26	-.05	.62	.35	-.15	.05	.02
実用性 27	.16	.61	-.10	-.03	-.15	.17
実用性 23	.09	.56	-.03	-.02	.08	-.22
社会的規範 03	.16	.36	-.15	-.29	-.01	.36
印象管理 21	-.01	-.01	.88	-.02	-.06	.03
印象管理 19	-.01	-.05	.75	.13	.02	-.07
印象管理 22	.17	.03	.73	-.07	.03	-.05
印象管理 20	.00	-.02	.40	.25	-.10	.27
個人的嗜好 16	.08	.01	-.07	.80	.09	.01
個人的嗜好 15	.00	.02	.14	.75	-.03	-.08
個人的嗜好 17	-.07	.15	.02	.70	-.12	.06
社会的調和 07	-.04	-.13	-.01	-.07	.92	.00
社会的調和 08	.04	.10	-.07	-.10	.76	-.07
社会的規範 05	.07	.10	.14	.22	.46	.04
社会的調和 09	.03	.24	.02	.06	.36	.23
社会的調和 06	-.05	-.16	-.01	.00	-.09	.88
社会的規範 04	-.05	.06	.01	.00	-.02	.73
社会的規範 01	.21	-.07	-.05	.16	.09	.49
社会的規範 02	-.17	-.03	.08	-.08	.38	.47
F1		.26	.47	.18	.49	.37
F2			.31	.07	.33	.41
F3				.40	.12	.43
F4					-.09	.15
F5						.32

Table10 職場（主にデスクワーク）

	因子					
	F1	F2	F3	F4	F5	F6
印象管理 21	.84	.03	-.04	.02	-.01	-.11
印象管理 22	.80	.04	.09	.11	-.08	-.04
印象管理 19	.67	.00	-.10	-.03	.21	-.08
個人的嗜好 18	.52	-.03	.20	.01	.03	-.12
印象管理 20	.51	-.11	.06	.04	.23	-.22
流行 14	.42	-.11	.13	-.13	.17	.32
流行 12	.32	.08	.30	-.20	.16	.24
社会的調和 06	-.05	.80	.00	-.10	.12	-.12
社会的規範 01	-.01	.77	.03	-.16	.13	.06
社会的規範 04	-.12	.68	.02	.08	.08	.03
社会的調和 09	.04	.57	.06	.02	-.11	-.02
社会的規範 02	.06	.52	-.09	.18	-.08	.07
流行 10	-.01	.11	.90	-.03	-.16	-.07
流行 11	.04	-.11	.81	.01	.07	.06
流行 13	.12	.03	.72	.08	-.07	.01
実用性 25	-.06	.00	.09	.76	.07	-.11
実用性 24	-.24	.03	.14	.64	.31	-.09
実用性 23	-.02	-.19	.03	.59	.07	.31
実用性 26	.20	-.04	-.08	.53	-.12	.08
実用性 27	.06	.13	-.16	.52	.06	.07
社会的規範 05	.32	.21	-.01	.34	-.19	.06
個人的嗜好 17	.11	-.02	-.11	.02	.87	.10
個人的嗜好 16	.16	.08	-.10	.04	.69	.00
個人的嗜好 15	.05	.09	.10	.11	.59	-.08
社会的調和 08	-.12	-.09	.01	.06	.03	.80
社会的調和 07	-.15	.16	.04	.05	.00	.69
社会的規範 03	.09	.24	-.03	.18	-.15	.27
F1		.26	.58	.05	.41	.06
F2			.24	.47	.08	.24
F3				.02	.19	.29
F4					.14	.23
F5						-.20



Table11 自宅

	因子					
	F1	F2	F3	F4	F5	F6
印象管理 20	.83	-.17	.20	.11	.00	-.10
印象管理 19	.78	.26	.02	-.03	-.25	-.20
印象管理 21	.68	.13	.14	.03	-.21	.13
流行 10	.65	-.10	-.04	-.07	.27	.10
流行 11	.62	-.15	-.11	-.01	.45	.21
印象管理 22	.59	.16	.14	-.10	-.08	.06
流行 13	.54	.08	-.19	.14	.22	.21
個人的嗜好 18	.47	.22	.24	-.11	.05	-.11
社会的調和 06	.00	.70	.00	-.21	-.05	.04
社会的規範 02	.10	.66	-.07	.02	-.05	.05
社会的調和 09	-.08	.66	-.07	.04	.02	.38
社会的規範 04	.10	.55	.03	.18	.04	.14
社会的規範 05	-.11	.50	.35	.12	.15	.06
社会的規範 03	.43	.44	-.22	.13	-.04	-.08
個人的嗜好 15	.12	-.15	.84	-.04	.17	-.08
個人的嗜好 17	-.07	.07	.76	.03	.02	.09
個人的嗜好 16	.20	-.05	.59	-.04	-.12	.29
社会的規範 01	.12	.13	.38	.02	.17	-.15
実用性 23	.05	.03	-.13	.76	.06	-.06
実用性 25	.08	-.09	.02	.74	-.18	.03
実用性 27	.06	.10	-.04	.69	.08	-.10
実用性 24	-.12	-.12	.22	.67	-.15	.12
実用性 26	-.07	.16	.03	.56	.29	-.26
社会的調和 08	-.02	-.11	.10	.11	.72	.10
社会的調和 07	-.08	.18	.12	-.09	.68	.01
流行 14	-.07	.33	.06	-.06	.10	.60
流行 12	.12	.10	.04	-.12	.15	.55
F1		.26	.58	.05	.41	.06
F2			.24	.47	.08	.24
F3				.02	.19	.29
F4					.14	.23
F5						-.20

Table12 山や海（自然の中でのレジャー）

	因子						
	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7
流行 11	1.00	.03	.05	-.03	-.03	.06	-.15
流行 10	.81	.09	-.04	-.13	-.02	-.02	.11
流行 12	.67	-.06	-.04	.06	.07	-.01	-.02
流行 13	.65	.02	-.05	-.01	.11	.07	.08
流行 14	.45	-.17	-.03	.13	-.03	-.03	.18
実用性 27	-.01	.75	-.07	.05	-.08	-.05	.17
実用性 26	.00	.73	-.16	-.09	-.01	-.02	.21
実用性 24	.03	.64	.19	.07	.04	-.06	-.29
実用性 25	-.06	.61	.17	.00	-.04	.04	-.12
実用性 23	.00	.60	-.16	-.11	.17	.09	-.04
社会的規範 01	.09	.44	.17	.14	-.21	-.13	.21
個人的嗜好 16	.00	.02	.85	-.05	.00	-.04	.16
個人的嗜好 17	-.07	-.05	.78	-.04	.11	.09	.04
個人的嗜好 15	-.01	-.07	.70	.00	.16	-.06	.08
社会的調和 06	.09	-.17	-.13	.79	-.02	-.20	-.03
社会的規範 02	-.03	-.03	.07	.76	-.14	.16	.01
社会的規範 04	-.17	.13	.04	.54	.20	-.02	.05
社会的規範 03	.04	.19	-.30	.40	.29	.10	-.05
社会的調和 09	.07	.01	.19	.37	1.53	.21	.05
印象管理 19	.04	-.02	.07	.05	.78	-.01	.04
印象管理 21	.08	-.05	.19	-.04	.77	-.01	-.04
印象管理 20	.11	-.01	.23	.08	.52	-.11	-.01
社会的調和 07	-.08	-.01	-.03	.01	.00	.97	.06
社会的調和 08	.18	-.05	.03	.03	-.07	.64	.05
印象管理 22	.05	.04	-.05	-.06	.46	.05	.50
社会的規範 05	.05	.11	.26	.03	-.12	.12	.50
個人的嗜好 18	.21	.04	.07	.02	.21	-.08	.42
F1		.01	.19	.37	.59	.26	.40
F2			.41	.17	.07	.16	.05
F3				.26	.34	-.03	.07
F4					.42	.20	.20
F5						.10	.37
F6							-.09

Table13 各場面における因子分析結果のまとめ

※各場面において因子負荷量が.40以上の項目には●もしくは○を記入した ※●はその因子において主となる項目であり、○はそれ以外の項目を示す ※複数因子に.40以上の因子負荷量がみられた場合は、最も高い因子負荷量の項目に記入した		百貨店やデパート	結婚式	葬式や通夜	入学式や卒業式	パーティー会場	公園	学校	職場	自宅	山や海
社会的規範 01	目的や場所を考えた衣服を着用する	●	●	●	●			●	●		
社会的規範 02	常識やしきたりに従った衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
社会的規範 03	慣習、伝統に合わせた衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
社会的規範 04	その場における自分の立場にふさわしい衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
社会的規範 05	年齢に合った衣服を着用する		●	●	●					●	
社会的調和 06	周りの人に対して礼儀や品位を表した衣服を着用する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会的調和 08	多くの人が持っている衣服を着用する			○							
社会的調和 09	周囲に受け入れられるような衣服を着用する	○	○	○	○	○			○	○	○
社会的調和 07	周囲の人と同じような衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
社会的調和 08	多くの人が持っている衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
社会的調和 09	周囲に受け入れられるような衣服を着用する						●				
社会的規範 03	慣習、伝統に合わせた衣服を着用する	○			○			○			
社会的規範 05	年齢に合った衣服を着用する						○				
流行 14	街で見かけた服装や店員の服装を参考にし着用する		○								
流行 10	流行している色・柄を選び着用する	●	●	●	●	●	●	●	●		●
流行 11	流行に合う衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●		●
流行 12	雑誌やテレビに出ている人の衣服を参考にし着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
流行 13	流行の素材を使っている衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
流行 14	街で見かけた服装や店員の服装を参考にし着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
個人的嗜好 18	好みのブランドの服を着用する	○			○	○	○				
個人的嗜好 15	自分の好みに合った衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
個人的嗜好 16	自分の好きな色やデザインの衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
個人的嗜好 17	気に入った服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
個人的嗜好 18	好みのブランドの服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
社会的規範 01	目的や場所を考えた衣服を着用する						○			○	
社会的規範 05	年齢に合った衣服を着用する						○				
社会的調和 07	周囲の人と同じような衣服を着用する			○							
印象管理 19	自分を引き立てる衣服を着用する		○	○							
印象管理 20	自分らしさを表現するような衣服を着用する		○	○							
印象管理 21	自分をより良くみせるデザインを着用する		○	○							
印象管理 22	スタイルがよくみえる衣服を着用する		○	○							
実用性 24	着心地が良い衣服を着用する						○				
実用性 25	体に良くあって動きやすい衣服を着用する						○				
実用性 27	暑さ寒さの調節しやすい衣服を着用する						○				
印象管理 19	自分を引き立てる衣服を着用する	●			●	●	●	●	●	●	●
印象管理 20	自分らしさを表現するような衣服を着用する	●			●	●	●	●	●	●	●
印象管理 21	自分をより良くみせるデザインを着用する	●			●	●	●	●	●	●	●
印象管理 22	スタイルがよくみえる衣服を着用する	●			●	●	●	●	●	●	●
社会的規範 05	年齢に合った衣服を着用する	○									
社会的調和 06	周りの人に対して礼儀や品位を表した衣服を着用する					○					
流行 10	流行している色・柄を選び着用する									○	
流行 11	流行に合う衣服を着用する									○	
流行 12	雑誌やテレビに出ている人の衣服を参考にし着用する								○		
流行 13	流行の素材を使っている衣服を着用する									○	
流行 14	街で見かけた服装や店員の服装を参考にし着用する									○	
個人的嗜好 18	好みのブランドの服を着用する				○			○	○		
実用性 23	洗濯や手入れが簡単な衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
実用性 24	着心地が良い衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
実用性 25	体に良くあって動きやすい衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
実用性 26	耐久性のある衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
実用性 27	暑さ寒さの調節しやすい衣服を着用する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
社会的規範 01	目的や場所を考えた衣服を着用する										○
社会的規範 03	慣習、伝統に合わせた衣服を着用する						○				
社会的規範 05	年齢に合った衣服を着用する								○		
個人的嗜好 17	気に入った服を着用する			○							
社会的規範 05	年齢に合った衣服を着用する										○
流行 12	雑誌やテレビに出ている人の衣服を参考にし着用する		○								
流行 14	街で見かけた服装や店員の服装を参考にし着用する					○					
個人的嗜好 18	好みのブランドの服を着用する										○
印象管理 22	スタイルがよくみえる衣服を着用する										○
実用性 26	耐久性のある衣服を着用する					○					

ぶ際の好みに包括されていることが考えられた。また社会的規範の「01. 目的や場所を考えた衣服を着用する」と「05. 年齢に合った衣服を着用する」も同様に、活動的な公園という場を前提とした際の好みのひとつとして解釈されたことが考えられた。職場を場面としたときは、印象管理因子に流行因子から2項目と個人的嗜好因子から1項目が移動したが、それ以外の点についてはほぼ仮説通りの結果であった (Table10)。移動した流行因子の「12. 雑誌やテレビに出ている人の衣服を参考にし着用する」と「14. 街で見かけた服装や店員の服装を参考にし着用する」は、街や雑誌などメディアを意識した項目であったが、これは他の流行因子とは異なり「流行」という言葉が含まれていなかったため因子としてのまとまりに欠け、その結果、他者からの視点を意識した印象管理因子に移動したのではないかと考えられる。自宅を着装場面とした場合では、流行因子が2つに分かれ、一方が印象管理因子と統合された形となった。印象管理因子と同じ因子に.40以上の高い負荷量を示したのは「10. 流行している色・柄を選び着用する」と「11. 流行に合う衣服を着用する」, 「13. 流行の素材を使っている衣服を着用する」の3項目であった。これらはいずれも「流行」という言葉が含まれており、それ以外の「12. 雑誌やテレビに出ている人の衣服を参考にし着用する」と「14. 街で見かけた服装や店員の服装を炭鉱にし着用する」の2項目とは異なるイメージを抱いたことが考えられた。また印象管理因子に該当する質問項目と流行因子の中で「流行」という言葉が入った項目のみ統合された点については、大学生にとって自身を引き立てる服装を選択することと流行を追いかけた服装を選択することに共通点があると考えられた。

なお6因子構造にならなかった3場面のうち葬式や通夜を着装場面とした場合では、社会的調和因子と社会的規範因子、印象管理因子と個人的嗜好因子がそれぞれ1因子としてまとまったため、4因子が抽出された (Table5)。パーティー会場と山や海を着装場面とした場合では7因子が抽出された。パーティー会場を着装場面としたときの第7因子は、実用性因子の「26. 耐久性のある衣服を着用する」と流行因子「14. 街で見かけた服装や店員の服装を参考にし着用する」から構成された (Table7)。また他の「05. 年齢に合った衣服を着用する」と「13. 流行の素材を使っている衣服を着用する」も同様の因子に.40以上の因子負荷量を示した。ただしその他の6因子は仮定した構造とほぼ同じ項目がまとまり各因子を形成していた。山や海を着装場面とした場合では第1因子から第6因子は仮説通りの構造であった (Table12)。第7因子には「22. スタイルがよくみえる衣服を着用する」「05. 年齢に合った衣服を着用する」「18. 好みのブランドの服を着用する」がまとまった。ただし22番の印象管理因子の項目は、同じ印象管理因子に属する3項目が形成した因子に対しても.46の因子負荷量をみせていた。他の項目は仮定したとおりの6因子で構成されていた。

以上のように、若干のずれはあるものの概ねは仮説どおりの因子構造に当てはめた解釈が可能であると考えられた (Table13)。そのためすべての場面をまとめ、改めて確認的因子分析を行った。

## 2. 着基準尺度の確認的因子分析

確認的分析では場面別の検討において7場面以上で社会的規範因子に属した社会的調和の「06. 周りの人に対して礼儀や品位を表した衣服を着用する」と「09. 周囲に受け入れられるような衣服を着用する」の2項目は社会的規範因子へ移動した。また因子間を不確定に移動したり、因子負荷量の低かった6項目「01. 目的や場所を考えた衣服を着用する」「03. 慣習、伝統に合わせた衣服を着用する」「05. 年齢に合った衣服を着用する」「12. 雑誌やテレビに出ている人の衣服を参考にし着用する」「14. 街で見かけた服装や店員の服装を参考にし着用する」「18. 好みのブランドの服を着用する」を削除した。残った21項目を用いてFigure1のモデルを作成し、確認的因子分析を行った。その結果、モデル適合度指標は $\chi^2 = .000$ , GFI = .926, AGFI = .902, NFI = .924, RFI = .909, RMSEA = .063の値がえられ、ある程度あてはまりが良い値がえられた。全てのパスは有意であり、各因子から質問項目への係数は.52～.93の正の値であった。なお値は標準化係数である。因子間の相関は流行因子と印象管理因子、個人的志向因子が.62以上のやや高い相関を示しており、流行の着装をすることが好きなものを着ることや自分をより良く見せることと同傾向を示していることが分かった。一方で社会的同調因子と個人的思考因子は-.33という中程度の負の相関を見せており、好きなものを着用することと周囲と同様のものを着用することには逆方向の関係があることも分かった。

各因子の信頼性を検討するためCronbachの $\alpha$ 係数を算出した。その結果社会的規範因子では.84、社会的調和因子では.78、流行因子では.86、個人的志向因子では.87、印象管理因子では.86、実用性因子では.80の値がえられた。

## 考察

本研究は、大学生における着基準尺度の検討を目的とした。大学生を対象に調査を行ったところ、提示した10場面間では概ね仮説とした社会的規範因子、社会的調和因子、流行因子、個人的嗜好因子、印象管理因子、実用性因子の6因子構造がみられた。そのためのすべての場面を合わせて確認的因子分析を行ったところ、十分な適合度のモデルがえられた。因子から質問項目へ延びるパス係数は.52以上の値を示しており、各因子をある程度表していると考えられた。

本研究で作成された21項目6因子の尺度は、福岡ら(1998)、中川(1986)、内藤・小林(2001)、安永・野口(2012)、雪村(2003)の研究で扱われた着基準を包括したものである。ゆえに、これまで作成されてきた尺度よりも着装に対する基準について幅広く調べることができる。また質問項目に着装場面の情報が含まれていなく、自由な場面を設定し調査を行うこともできる。そのため複数の場面での着基準を比較することが可能である。さまざまな生活場面における着基準の比較は、着装と心理の関係を明らかにする一助となるだろう。しかし今回の研究では因子ごとの項目数にばらつきがあり2項目で構成されている因子もあることから、再度項目数を増やしての検討が必要といえる。また本研究では大学生のみを調査対象としたため、他の年代での着基準の構造については未検討である。幅広い年代で利用可能な尺度を目指すには、改めて異なる年代でも調査する必要がある。

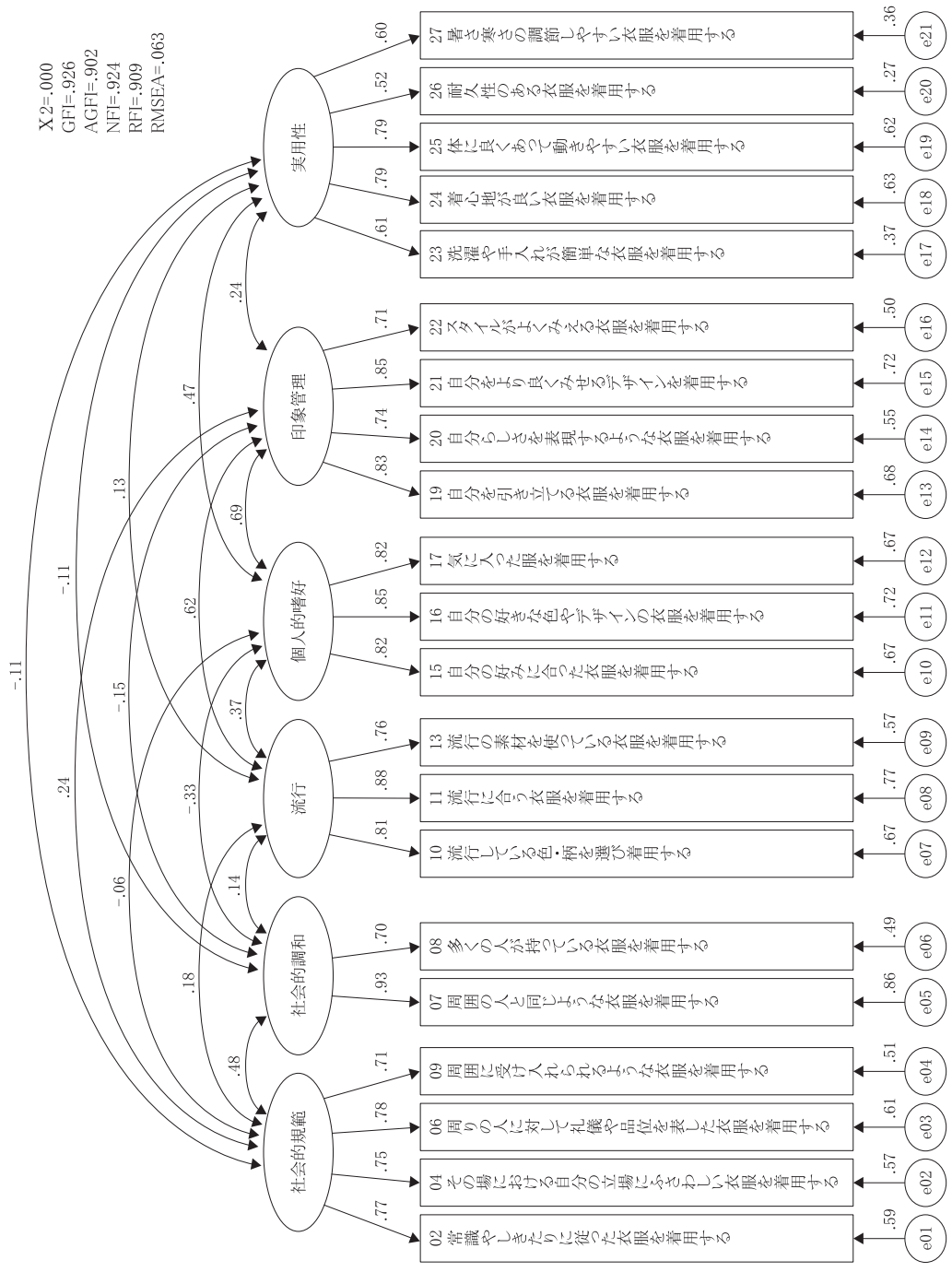


Figure 1 着装基準尺度の因子分析結果

着基準尺度の因子構造は本研究において確認できたが、本尺度が着基準そのものを性格に捉えているかという妥当性については言及しなかった。今後、関連尺度と共に改めて調査を行い、測定内容の妥当性について検討する必要がある。加えて本尺度が安定した結果を導くことができるかという再現性の問題についても言及したい。本研究では一度の調査により着基準尺度について検討している。時間の経過による結果の変容について確認するため、暫く時間をあけて再度調査を行うことが求められる。以上のように今後検討の必要がある点は多々見られるが、本研究は大学生の着基準を測る指標の原案となったといえるだろう。今後、本尺度の精度をより高めるための研究が望まれる。

## 結論

大学生における着基準尺度の検討を目的とし調査を行ったところ、21項目6因子の尺度が作成された。確認的因子分析を行った結果、モデルのあてはまりについては十分な値がえられた。今後、再現性や妥当性に言及し再度調査を行い、精度と汎用性の高い尺度の検討を目指したい。

## 文献

- 阿部久美子・高木修・神山進・牛田聡子・辻幸恵（2000）. 着規範に関する研究（第3報）—生活場面と着基準の評定に基づく着規範意識の構造化—, 繊維製品消費科学会, 41（11）, 861-867.
- 福岡欣治・高木修・神山進・牛田聡子・阿部久美子（1998）. 着規範に関する研究（第1報）—生活場面と着基準の関連性—, 繊維製品消費科学会誌, 39（11）, 702-708.
- 神山進・高木修・牛田聡子・馬杉一重・阿部久美子・福岡欣治（1997）. 被服と身体装飾の社会心理学的研究（6）着現場面で意識される基準の構造と、それに基づく場面の分類, 日本社会心理学会大会発表論文集, 38, 136-137.
- 内藤章江・小林茂雄（2001）. 着規範に対する着行動要因の影響, 繊維製品消費科学会, 42（11）, 43-41.
- 中川早苗（1981）. 衣生活システムの理論的・実証的研究（第1報）現代主婦のファッション意識の構造, 日本家政学雑誌, 32（10）, 764-771.
- 中川早苗（1986）. 衣生活システムの理論的・実証的研究（第3報）女子大生の生活場面と着基準に関する研究, 繊維製品消費科学会, 37（5）, 397-403.
- 岡村好美（2003）. 色彩感性と衣服選択の関連, 宮崎大学教育文化学部紀要, 9, 23-32.
- 岡田宣子（2000）. 高齢者の衣生活行動の現状と要望点—被服の調達と選択行動を中心として—, 日本家政学会誌, 51, 595-603.
- 田中優・秋山学・泉加代子・上野裕子・西川正之・吉川聡一（1998）. 高齢者の自律と着行動に関する研究, 繊維製品消費科学会誌, 39, 716-722.
- 牛田聡子・高木修・神山進・馬杉一重・阿部久美子・福岡欣治（1997）. 被服と身体装飾の社会心理学的研究（5）着意識の男女差・年代差と自意識, 独自性欲求との関連, 日本社会心理学会大会発表論文集,

38, 134-135.

牛田聡子・高木修・神山進・阿部久美子・福岡近治（1998）. 着装規範に関する研究（第2報）―場面と基準の関連性を規定する個人差要因―, 繊維製品消費科学会, 39（11）, 709-715.

内田直子・小林茂雄・長倉康彦（1998）. 外空間と内空間における女性服装の適合度, 日本官能評価学会誌, 2（21）, 29-37.

安永明智・野口京子（2012）. ファッションへの関心と着装行動に関する基礎的調査研究―性別, 年齢, 主観的経済状況, 性格による差の検討―, ファッションビジネス学会論文誌, 17, 129-137.

雪村まゆみ・井上和子・立岡浩・小林恵子（2003）. 職場における着装規範意識の構造に関する研究（第1報）～着装基準のKJ法による分析～, 繊維製品消費科学会誌, 44（11）, 644-651.